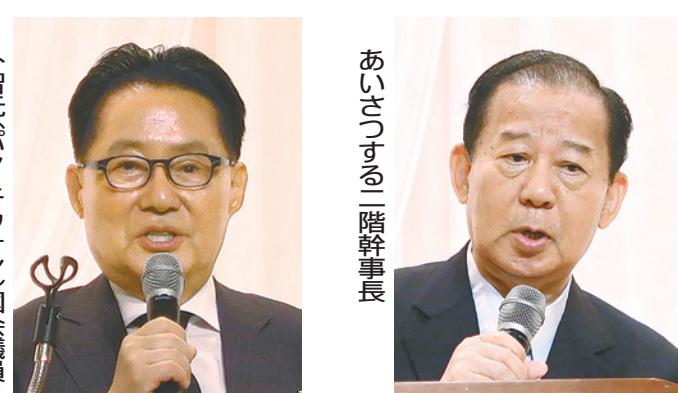


交流団訪韓フォトルポ

未来志向の日韓交流促進へ



■ 交流会(木浦)



■ 共生園訪問(木浦)

日韓観光・経済交流団は11日、韓国南部の全羅南道・木浦にある共生園を訪問した。共生園は田内千鶴子(韓国名・尹鶴子)コン・ハクヤさん(孤児たちの養育をした施設)と結婚して日本で生まれ、28年に木浦でキリスト教の伝道師として活動。68年になると約3千人の孤児を育て上げ、「韓国孤児の母」と呼ばれる。63年高知県政府から文化祭を受けるなど民間大使として日韓の架け橋となってきた。木浦市内で開催された交流団の歓迎会で田内さんの長男である福井さんと再会した。

祉財団の尹基(ユン・キ)会長は「日韓友好のために生きることが大事」と思いの継承を訴えた。交流団団長で自民党的二階俊博幹事長は「現在ある歴史的な問題や課題などを解決し、日韓友好へつなげることを果たす」と語った。2016年10月に全羅南道と姉妹協定を締結した高知県の尾崎正直知事は「全羅南道の根柢を守り、日韓関係の発展に貢献したい」と述べた。また、交流団は共生園の観賞、日韓友好を願う風船飛ばしなどを行った。



■ 顯忠院訪問(ソウル)



日韓観光・経済交流団360人、全羅南道「木浦」を訪問